

可丁延ニ於テ教員ヲ養成スル學校ヲ建テ教育ノ書ヲ著述スルヲ三十部ニ餘レリ此人ハ唯學力ノ衆ニ抽ンズルノミナラズ生徒ヲ教導スルノ術モ亦極メテ巧ナリシト云ヘリ以命斯的（エムレヌスチ）ハ（一千七百三十三年ニ生レ）近千八百零一年ニ卒ス才學超越ニシテ殊ニ古學ヲ好ミ是ヲ以テ畢生ノ業ト爲ス其古學ニ明カナリシヨリ生徒ノ爲ニ益ヲ得ルヲ多カリシナリ

○希因（ヘイン）ハ（一千七百二十九年ニ生レ、一千八百十二年ニ卒ス）近世ノ經典（クラシク）學ノ名家ナリ希因經典ヲ印刷シテ世ニ公ニシ伊爾（イル）黑爾（ヘル）ノ學校ノ教則ヲ定メ可丁延ノ大學校ニ於テ許多ノ人才ヲ養成シ日耳曼ノ少年ノ爲メニ益ヲ爲スニ甚大ナリ約各伯古連泄（ヤッコッブアレンセル）ハ共ニ同シ學派ノ教師ナレトモ第十八世ヨリ第十九世ニ在テ多ク教育ノ事ヲ務メシヲ以テ其事迹ハ後節ニ之ヲ記ス若安惹（ゼンツヤウキースレーナウ）幾盧騷（ハ）（一千七百二十二年ニ生レ、一千七百七十八年卒ス）其自言フ所ニ據レバ蓋シ巴ノ品行ヲ修メテ衆人ノ模範トセシ

者ナリ盧騷教育ヲ養成スル爲ニ數部ノ書ヲ著ハシ以テ教育上ニ新ナル法則ヲ立テ數十年ノ間日耳曼人ノ爲ニ大ナル感化ヲ爲シタリ
○盧騷ノ著ハセル「エミル」ト云ヘル書ハ從前未ダ嘗テ教育ヲ受ケザル者ノ爲メ又巴ガ子ヲ生ミテ直チニ之ヲ棄兒院ニ投スル父母ノ爲ニ著ハセシ者コシテ教育ノ真理ヲ説クノ頗ル詳ナリト雖モ其中ニ詭辨矯說ヲ交ヘテ道德ニ離ル者モ亦少ナカラザルナリ盧騷ノ書ハ總テ造務自然ノ理ニ託シテ其說ヲ立ツ後生ノ學者其說ヲ喜ビ奮勵激昂シテ其遺說ヲ擴張セントスル者多シ

○約翰（ジョン）駱克（ロッキ）ハ前ニ既ニ其名ヲ出セリ此人教育ノ事ニ就テ書ヲ著ハシ亦造化自然ノ理ニ根據シテ其說ヲ立テ後世ノ爲メニ堅固ナル先導者ト爲レリ駱克ハ盧騷ト同シク推理家ナリ唯其性行盧騷ニ異ニシテ其論スル所常ニ仁義道德ノ外ニ出ルコトナシ

○約翰（ジョン）伯爾（ベル）拿（ナル）巴斯（バスター）癸（イ）ハ（一千七百二十三年ニ生レ、一千七百九十年ニ卒

ス上ノ二人ニ比スレバ其教育ノ境界差狭ク純正ノ理ヲ離ル、フ差多
 シ然レモ教育ノ爲メニハ奮勵勇進シ其説ヲ執ル、ト堅確ニシテ動搖セス、
 壯年ノ時ハ其銳氣ニ乗シテ常ニ神道ノ學者ト爭辯論駁ヲ爲セリ、一千
 七百六十八年巴斯朶年四十五初メテ人間智識ノ本質ト題セル書ノ大
 意ヲ草セリ、丁抹ノ宰相伯命多爾弗見テ之ヲ愛シ爲メニ金ヲ出シテ其
 成功ヲ助ク、巴斯朶是ヨリ力ヲ此書ノ著述ニ殫ス、一六年、一千七百七十
 四年初メテ此書ヲ發行ス、全部四冊ニシテ一百ノ圖畫ヲ挿入セリ、其書
 分ナテ六篇ト爲ス、第一篇ハ言語事物ノ教示ノ初步、第二篇ハ小兒ヲ勞
 倦セシメスシテ讀書ヲ教フルノ法、第三篇ハ造化自然ノ學、第四篇ハ禮儀
 必思道理ノ學、第五篇ハ自然ノ神道、第六篇ハ交際義務ノ學是ナリ、巴斯
 朶分初學ノ爲ニ著ハセル此書ハ彼著名ナル哥米紐ノ書ト其基礎ヲ同
 クスルト云フヲ以テ世ニ之ヲ稱シテ第十八世ノ一オルビスピクトスト
 爲ス、巴斯朶此書ヲ著ハシテ已カ教育ノ意見ヲ述ルノ後、安合德騷ノ侯

里浪德ノ助力依リ、德騷ノ地ニ一ノ學校ヲ建テ之ヲ仁慈學校ト名ケ、
 德化自然ノ理ニ基キテ生徒ヲ教育シ、以テ其嘗テ自ラ論説スル所ノモ、
 實地ニ試ムルヲ得タリ、凡ソ天下ノ萬民ハ皆同様ナル約束ヲ以テ
 其利益ヲ分ツベシト云フハ巴斯朶ノ持論ナリ、此説遂ニ神道學ノ中ニ
 通行ス、デリスト上帝アルヲ信シテ默示ノ教徒ノ如キハ全ク巴斯朶
 説ヲ信用セリ、

○巴斯朶ノ學校ヲ開キシニ其初來リ學ブ者甚少、第二年ノ終リニ至
 門ニ入ル者僅ニ十三人ニ過ギズ、一千七百七十六年、巴斯朶更ニ誇張
 ノ論ヲ發シ、已ガ教學ノ新法ニ從テ學ブ者ハ、古代ノ教學法ニ從フ者ヨ
 リ其後試験ヲ爲シ、以テ其効ヲ知ラシムベシト云フ、是ヨリ門人ノ數頗
 ル増加セシト雖モ、遂ニ甚多キニ至ラザリシナリ、一千七百七十八年、
 巴斯朶仁慈學校ノ學頭ノ任ヲ物爾克ニ讓ル、物爾克ハ初メヨリ此學校

ニ在リテ、巴斯朶ヲ助ケシ者ニシテ、其材幹ハ却テ巴斯朶ニ勝レリ、巴斯朶ハ德騒ニ在リテ私ニ生徒ヲ教授シ又教員ヲ養成スル書ヲ編著セリ、巴斯朶晩年ニ至リ、其飲食ヲ節セザルト喜怒常ナラザルトニ由テ大ニ從前ノ聲譽ヲ墜セリ、

○仁慈學校ハ、物爾克及ビ其同志ノ士撒爾都曼甘陌等ノ諸人此學校ノ學頭アリシ間ハ大ニ隆盛ヲ致セシガ、一千七百九十三年ニ至リ遂ニ閉校セリ、然レモ此學校ノ教則ハ諸國ニテ之ヲ採用スル者多ク、馬爾斯留瑞士國翰堡、聖彼得堡、度爾克海、斯業邊達等ニテ皆巴斯朶ノ法ニ倣ヒテ、同ノ種類ノ學校ヲ建タリ、斯業邊達ノ仁慈學校ハ、一千七百八十四年撒爾都曼ノ建立スル所ニシテ猶今日ニ現存セリ、

○仁慈學校トハ、巴斯朶ノ理論ニ基キテ其名ヲ命ゼシ者ナリ、其教則ハ精闢失スル所多シト雖モ、舊來ノ教則ニ比スレバ幾歩ノ前進ヲ見ルベシ、此教則ニ殊ニ身體ヲ練磨スルノ要用ナルヲ論シ、古代ノ神理學

ハ、ヒロソビ以テ生徒ヲ教授スルノ不可ナルヲ看破シ、總テ教授法ノ嚴刻ニ過ル者ヲ去リ、以テ教育ノ道路ノ障礙ヲ除キ、後ニ興ルハ學者ハ爲メ、良法ヲ立ルハ前途ヲ開ケリ、此學派ノ教師ニハ著述ヲ以テ名ヲ得シ者多シ、物爾克、撒爾都曼、古都繆多甘陌、祿浩、庇結斯外好塞、多拉布等皆教授ノ書ヲ著ハシ、當時ノ文學者ト稱セラレタリ、

○此他猶教育ノ事ニ熱心セシ者ニ沈前多弗アリ、(一千七百年ニ生レ、一千七百六十年ニ卒ス)此人ハ全ク第十八世ノ時ニ在リト雖モ、仁慈ノ學派ニ歸セズシテ、敬神ノ學派ヲ奉シ、佛郎基ノ門人拉摩威ノ教學法ヲ再興シ、哈勒ノ學校ノ法ニ倣ヒテ歐羅巴亞米利加ノ地ニ許多ノ學校ヲ建テタリ、沈前多弗勉メテ善ク其門人ヲ教育セシヨリ、其餘惠ノ及ブ處、遂ニ諸國ニ良善ノ學校ヲ見ルコト多キニ至レリ、

○敬神、人道、仁慈ノ三學派ハ、各其學問ノ旨趣ノ異ナルヨリシテ、互ニ相敵スルノ必キ生シ、其學士教師タル者ハ各一方ニ雄踞シテ、爭テ其上ニ

出シテ求メ、是ニ依テ教育ノ爲メニ進歩ノ益ヲ見ルコト多シ、仁慈學ヲ修ムル者ハ其學問ノ旨趣ヲ以テ舊來世人ノ委棄セシ窮民ヲ教育センコトヲ欲シ、ハイニコツケ「グレイドウ」長老得勒彼「シカルド」ノ諸人ハ、盤噶ノ爲メニ學校ヲ興シ、瓦連丁「ハウイ」クライン「セウチ」ノ諸人ハ盲人ノ爲メニ學校ヲ建テ、「ウヰンセント」デ、ハウル「ロベルト」レーケス「ホチス」「オベルリン」ノ諸家ハ、日曜日ノ學校ヲ造リ、「オデスカルチ」タタギオハン「ハ羅馬」ニ於テ改過學校ヲ立テ、又倫敦ニハ仁慈學ノ學社ヲ開ケリ、是等ノ諸學校ハ又通商農業開鑿其他諸藝ノ專門學校ノ基礎ト爲レリ

○此學派ニテ有名ナル教師弗力都及ビ上ニ記セル諸人ノ如キハ、更ニ書キ著ハシテ教育ノ助ヲ爲セシ者多シ、殊ニ日耳曼ニ於テハ、第十八世ノ終ニ於テ最モ教育ヲ論說セル著述者ニ富メリ、小兒ノ教育學問ノ再興ニ二書ヲ著ハセル蘇爾塞「智慧及基督教教育ノ原理修身圖」ニ書キ著ハセル美爾列「共ニ其著書ヲ以テ名ヲ得タリ、又勃克幹多ノ二人ハ、共

ニ理學ノ名家ナリシガ、教師養成ノ書ヲ著ハセリ、淮斯ノ著ハセル小兒ノ朋友ト云ヘル書ハ人ノ父ト爲リ人ノ子ト爲ル者トニ益アリ、以勒耳ノ著ハセル人君及ヒ宰臣ノ指導ト云ヘル書ハ、教育ノ深奥ノ理ヲ説ケリ、彪細「一千七百七十五年、翰堡ニ商業ノ學校ヲ建シ人ナルガ、其教育ノ著書亦多シ、希得爾「盧騷」ノ大敵ナリシガ、嘗テ新「エヨル」ノ書ヲ著ハセリ、列色微都「古魯的別堅」ノ習練學校ノ建造者ナルガ、其著ハス所ノ教育ノ思想物件指導ト都人教育ノ二書ハ、千七百年代ノ著書中ニテ、教師タル者ノ爲ニ最益アルノ書ナリ、額爾立「翰堡」ノ習練學校ヲ建シ人ニシテ兼テ教育ノ小冊子數部ヲ編著セリ、勒多熱斐「辛奇」尼麥耶「西瓦都」伯涅基等ノ諸人ハ、其在世ノ大半ハ八百年代ニ係レル人ニシテ、共ニ教育ノ爲メニ或ハ理論或ハ實行ノ書ヲ著ハシテ、古代諸家ノ未ダ論シ及バザル所ヲ補ヘリ

北斯答洛日ベスマダロジ 此ノ人教育略説 此人ノ定説ノ窒碍 教師ト爲

リテ成功十全ナラズ 北士答洛日ノ教則ノ流行 北士答洛日

ト同時ノ教則改正ノ諸人 非連山ヘレンベック、惹哥多コト、黑爾庇エルヒ其花的日ハゲルハゲル拉爾

蘭加斯得ランカステル 此諸人ノ教則ノ説 壤地利フエニ於テ黑爾庇耳エルヒノ創按

セシ撒干サカンノ教則 蘭加斯得ノ教則 英吉利亞米利加ニ於テ此

教則ノ流行 此教則ノ缺失 阿伯林アール、色爾勒ソレル兄弟フエール、蔽爾利リ、維給倫ツケルン

ノ教育ヲ高クスル爲メノ勉勵 後來ノ快活ナル光景

○北斯答洛日ベスマダロジハ(一千七百四十六年ニ生レ、一千八百二十七年ニ卒ス)第

十八世ノ終ニ出テ、大ニ人民ノ上ニ教育ノ感應ヲ爲シタル人ナリ、北斯

答洛日ノ教育ハ、唯一邊ニシテ全體ヲ盡ササルハ、略バスマドレ、巴斯采ニ

同シク、又盧騷ノ「エミル」ノ書ヲ讀ミ、其説ヲ師トセシモ、又巴斯采ニ同シ

ク、其希望ノ空漠虛大ナルヲモ、巴斯采ノ如クニシテ却テ之ニ過ギタリ、

唯其性ノ温厚ニシテ身ヲ律スルヲ正シク、深ク神道ヲ崇敬スルニ至リ

テハ、全ク巴斯采ニ異ナリトス、

○北斯答洛日ガ生涯ノ行事ヲ見ルニ、其志ハ至テ厚シト雖モ、教育上ニ

著ルキ成績ヲ顯ハセシヲナシ、北斯答洛日ノ性タル、天稟ノ智慧ニ乏シ

キヲ以テ、事ヲ料ルニ先見ノ明ナシ、故ニ事ヲ爲スニ自ラ時到レリト思

ヒテ、手ヲ下セドモ、其實ハ好時期ニ非ズ、譬ヘハ種子ヲ下スニ播種ノ時

節ニ適セサルガ如ク、已ニ之ヲ播種スレハ、忽チ腐壞シテ萌芽ヲ生ズル

ヲ能ハス、北斯答洛日ノ教學法ハ、他人ノ之ニ心服スルヲ、北斯答洛日ガ

自ラ之ニ心服スルノ深キニ及フ者ナシ、故ニ北斯答洛日其身親ラ生徒

ヲ教育スルノ功ハ少シト雖モ、其遺説ハ後ニ存スル者、教育ノ上ニ多少

ノ感應ヲ生シ、今日ニ至リ、人民ノ智識ノ上ニ其果實ヲ結ブ者甚多シ、

○北斯答洛日ノ教學ノ説ハ、今日世上ニ弘行スルヲ甚廣シ、今其教則ノ

原理ヲ考フルニ、其中ニ秀美ナル者ト病弊アル者ヲ雜フルヲ覺フ、因テ

今簡易ニ之ヲ辨明セントス、北斯答洛日ノ教學ノ原理ハ、其著ハス所ノ

「レオナルド、エンリコ、シエルトリエード」ホウ、セルトリエード、チーナズ、ハル、
 チルドレン「ブック、オフ、マザルス」共ニ等ノ書ニ詳カナリ、其説ニ曰ク凡ソ
 教育ハ總テ造化自然ノ法則ニ從テ之ヲ進メザルベカラズ、曰ク教師ノ
 職務ハ少年ヲ導キテ其自ラ勤勉活動スルノ心ヲ發セシムヘシ、教師
 ノ少年ヲ導クハ能ク其定度ヲ守リテ、少年ノ自ラ務ムヘキ境界
 ハ中ニ攙入スルヲ勿レ、曰ク生徒ヲ教フルハ階級ニ從ヒテ徐々ニ其歩
 ヲ進ムベシ、然レモ亦間斷アルベカラズ、又第一級ノ事ニ通ゼザル間ハ
 第二級ノ事ヲ傳フベカラズ、曰ク記憶ト理會トハ過度ニ之ヲ學バシムベ
 カラズ、人ノ智力ハ齊整ニ之ヲ發達セシムベシ、曰ク生徒ハ男女其種ヲ
 異ニスルノミナラス、人々ノ性質亦各異ナル所アレハ密ニ意ヲ用ヒテ
 之ヲ教導セザルベカラズ、曰ク學問ノ初級ハ形ト數ト語トノ三者ナリ、
 此三者ヲ教フルハ簡約ニシテ且ツ通徹センヲ要ス、曰ク事理ヲ觀ル
 ト云フコトモ之ヲ教ヘザルベカラズ、了悟ノ智モ亦之ヲ開發スルヲ務

ムベシ、曰ク教學ノ各科ハ生徒ノ回想ノ力ヲ以テ之ヲ復習スルヲ意
 ルベカラズ、曰ク算術、幾何學及ヒ美麗精好ノ物ヲ畫スルコトハ少年ノ心
 ヲ習練活潑ナラシムルノ益アリ、曰ク言語ノ法則ハ其原理ヲ人ノ内部
 ニ取ル者ナリ、語學ハ唯人ノ智慧ヲ増スハヨナラズ、又人ノ感覺ヲ強ク
 スルコトヲ得ベシ、曰ク音樂ハ學校ニ於テ教フベキノ伎藝ナリ、唯其音節
 ヲ教フルノミナラス、兼テ又音樂ノ道理ノ淺易ナル者ヲ教フベシ、曰ク
 瑣克拉的ノ教學法ハ、巴斯朶及ヒ其他ノ學士ノ説ニ從ヒ今日用ヒ難キ
 者ト爲スベシ、曰ク生徒學ニ入ルノ始ハ教師先ツ口授ヲ爲シ、生徒ヲシ
 テ之ヲ復誦セシムベシ、學業少シク進ミタル後ハ、教師先ツ疑問ヲ發シ生
 徒ヲシテ其義ヲ解答セシムベシ、但シ他人ノ之ヲ助クルヲ許サズ、曰ク
 神道ヲ教フルハ幼年ノ時其母ノ教育スルヲ以テ始メト爲スベシ、然ル
 時ハ能ク小兒ノ爲メニ孝順ノ心ヲ養ヒ、其心ヲ以テ上帝ニ事ル時ハ直
 ニ誠信ノ人ト爲ルヘシ、禮文儀節ノ如キハ小兒ノ既ニ生長シ其義ヲ了

解スルヲ待テ後ニ之ヲ教フルモ晚キトニ非ルベシ、曰ク學校ニ於テハ
換シテ威力壓制ノ法ヲ行フベカラズ、教師生徒ノ間ハ恩義ヲ以テ相感
セシムルニ思義ニ感スル時ハ生徒ノ奮發進歩スルヲ或ハ賞賜ヲ與
ヘ、或ハ相爭競セシムルヨリ其功遙ニ優レリ、曰ク智慮ノ進動ヲ起シ身
體ノ健強ヲ養フコトハ生徒ヲ教育スルノ最大要件ナリ、

○北斯答洛日ガ論ズル所ノ以上ノ理論ハ頗ル精詳ヲ極メテ從來ノ教
師ノ理論ニ勝レル者多シ、然ルニ北斯答洛日ガ親ラ生徒ヲ教育スルノ
狀ヲ觀ルニ頗ル欠闕ノ處アリ、今其一ニテ舉ルニ唯偏ニ智慮ヲ開發ス
ルコトノミヲ務メテ博シ事物ニ通スルコトヲ務メズ、數學ノ如キ思考ヲ用
フル學科ニノミ深シ力ヲ用ヒテ其他ノ學科ヲ疎ニス、簡易ニシテ足ル
ニテ科目ヲ精詳ニ學ハシメテ之ガ爲メニ時日ヲ費ス、多シ、史學ヲ輕
視シ、唯之ヲ以テ諸學科ノ實證ニ備フル者ト爲シ、殊ニ神學ニ於テ專ラ
用フベキ者ト爲ス、又敬神法教ノ道ハ人間固有ノ者ナリト云ヘル巴斯

桑ノ謬說ヲ信シ之ヲ改ムルヲ知ラザリシナリ、

○北斯答洛日ガ教育ノ理論ト實効トヲ比シテ之ヲ觀レハ、理論ノ實迹
ニ勝ルコト甚多シ、又其教育ノ實功モ自己ノ手ニ成ラズシテ他人ノ手ニ
成ル者多シ、普魯士ノ諸學校ニ於テ教學ノ法ヲ定メ大ニ國民ノ智識ヲ
開發セシガ其根原ヲ尋ヌレバ全ク北斯答洛日ノ教則ニ基シ、唯僅少ノ
改正ヲ爲セシノミナリ、又英吉利及ヒ亞米利加合衆國ニ於テモ後來ノ
教師ノ爲メニ大ナル感應ヲ爲セシハ北斯答洛日ノ教則殊ニ從前ノ諸
學士ノ上ニ出タリ、

○北斯答洛日ノ同時幾多ノ學士輩出シ、大ニ教育ノ事ニ力ヲ用ヒタリ、
其教化ノ及フ所大ニ別アリト雖モ、皆一時ノ名儒碩學ト稱スベシ、其
中卓出セル者ハ非連山、惹哥多、黑爾庇耳、花的日、拉爾、蘭加斯得等ノ諸人
ナリ、

○非連山ハ一千七百七十一年生レ一千八百四十四年卒ス、北斯答洛日

ト同シク瑞士ノ産ナリ、其事業ニ至リテハ、北斯答洛日ニ異ニシテ、大ニ教師ノ實効ヲ顯ハシタリ、非連山、何弗維爾ホフヴェル、伯爾尼ベールン、チ距ルル數里ノ所ニ於テ少年ヲ教育スル爲メニ巨大ノ建築ヲ爲セリ、此建築ハ其内ニ數科ノ學校ヲ備ヘシ者ニテ、理論ト實際トヲ兼タル、農學校アリ、農學器械ノ工作教場アリ、農業ノ理ト其他ノ學科ノ大略ヲ教フル貧人學校アリ、日耳曼ノ貴族ノ少年ヲ教フル上等ノ學校アリ、中間ノ民種ノ爲メノ中等學校アリ、教師ヲ養成スル爲メニ設ケタル師範學校アリ、非連山ノ教則ハ大ニ北斯答洛日ノ教則ニ似タリ、然レモ其中或ハ彼ニ勝ル者アリ、其一二ヲ舉グレバ、知識ヲ擴ムルト、品行ヲ習熟サスル下、才能ノ均齊ヲ得セシムルト、史學ト聖經トニ重キヲ歸スルハ共ニ北斯答洛日ノ教則ニ勝レルニ似タリ、非連山ノ建シ諸學校ハ一千八百四十八年ニ至リ、大概廢絶セリ、唯貧人學校ノニ存在シ、其中ニ在ル生徒ハ非連山ガ所有セル廣大ノ田園ヲ耕作シ、以テ實地ノ習練ヲ學ベリ、

○オーストリア 惹哥多オーストリアハ一千七百七十年ニ生レ、一千八百四十年ニ卒ス、法蘭西ノ人ナリ、的仍オーストリアニ於テ教育ヲ受ケ、後魯宛ルイセンノ大學校ノ學師ト爲ル、惹哥多ノ教則ハ比利時全國ニテ之ヲ遵用シ、其他諸國ノ都邑ニ於テモ之ヲ用フル者少ナカラズ、其法ハ北斯答洛日ノ教則ニ比スレバ、記憶ノ力ヲ強クスルコトヲ勉メシ者ナリ、惹哥多ノ生徒ヲ教フルハ常ニ生徒ヲシテ、國語學科トノ別ナク、盡ク其文ヲ讀記セシメ、教師爲メニ其中ノ疑義ヲ解説シ、明日ニ至レバ、生徒ハ昨日學ビシ所ヲ復誦シ、又自ラ其義ヲ解説ス、惹哥多ノ此教學法ハ生徒ニ國語ヲ習熟セシメ、知見ヲ定メ、及其知ル所ノコトヲ運用セシムルコト、却テ北斯答洛日ノ法ニ越タリト云ヘリ、

○ヘッセル 黑爾庇其ヘッセルハ、壤地利ノ人ニシテ、細勒西ノ撒干サカシノ教長ト爲リ、後一千七百七十年ノ後、壤地利全國ノ學校監督ト爲ル、嘗テ教育ノ書ヲ著ハシテ、撒干ノ法則ト名ク、撒干ニ在テ教門ノ重官ニ登リシヲ以テ其榮ヲ表シテ、此名ヲ命ゼシナリ、黑爾庇其學校監督ノ任ヲ受クルノ前、歐羅巴ノ全

部ヲ遍歴シ、諸國ノ教育ノ狀ヲ觀テ、其効ヲ實際ニ顯ハスノ多少如何ヲ
 經驗ス、已ニシテ本國ニ還リ始メニ師範學校中等學校ヲ細勒西ニ建テ、
 後又壤國ノ諸部ニ之ヲ建テ、人ノ父母タル者ヲシテ必ラズ其子ヲ學ニ
 就カシメ、若シ肯カサル者ハ罰金ヲ命ジテ其罪ヲ衆ニ示スノ法ヲ立ツ。
 ○黑爾庇其ガ壤地利ニ於テ教育ヲ施スノ狀ハ大略左ノ如シ、凡ソ教師
 タル者ハ必ス試験ヲ行フテ後之ニ任シ、學校ノ教則ハ一ニ撒干ノ法則
 ニ從ヒ(此法則ハ巴斯朶ト北斯答洛日ノ法トヲ雜ヘ採リシ者ナリ)生徒
 ニ教フルノ科目ハ實際利用ヲ達セシムルヲ以テ主ト爲ス、教師ハ速カ
 ニ生徒ヲ導キテ其知ル所ヨリシテ知ラサル所ニ達セシムルヲ要トス、
 總テ生徒ヲ教フルハ記憶ヲ強クスルヲ後ニシテ智識ヲ發達セシムル
 ナ先ト爲ス又生徒ヲ教授スルノ法モ撒干ノ法則ヲ採用シ學力進歩ノ
 度ニ從テ生徒ノ階級ヲ分テ、時々試験ヲ行ヒ精密ニ其高下ヲ甄別セリ。
 ○黑爾庇其ノ教則ハ完善ノ者ニ非スト雖モ、當時ノ教師生徒共ニ之ヲ

崇信シテ無雙ノ良法ト爲シ、是ニ由テ壤地利ノ全國ノ學校ニ於テ之ヲ
 用ヒザル者無キニ至レリ、波希米ニ於テハ黑爾庇其ノ朋友金得曼黑爾
 庇其ト心ヲ同スシテ教學ニ力ヲ盡セシガ、遂ニ女帝馬利別理薩ノ命ヲ
 以テ波希米ニモ亦撒干ノ法則ヲ行フトナレリ、黑爾庇其ガ教則ノ壤
 地利全國ニ行ハレシハ凡ソ十五年ノ間ナリ、

○花的日拉爾ハイツェル シララドハ一千七百六十五年ニ生レ、一千八百五十年ニ卒ススツカス、瑞西
 ノ弗里堡フリブルグノ人ニシテ哥爾德利コルテリイノ教會ノ修道士ナリ、蚤ク加特力ノ教法
 ニ歸シ、兼テ深ク教育ノ事ニ心ヲ用ヒタリ、日拉爾弗里堡ニ一ノ學校ヲ
 建テ、其教則ハ北斯答洛日ノ法ヲ增損シテ之ヲ用フ、後瑞西政府、日拉爾
 ナ招キ、學校ノ檢査ト、學事報告ノ事トヲ委托ス、日拉爾問答法ニ熟スルヲ
 以テ、生徒ノ爲ニ益アリト爲シ、巴斯朶ノ法ニ倣フテ之ヲ行ハシム、日拉
 爾ガ教育ノ實際ニ功ヲ奏セシコトハ北斯答洛日ノ上ニ出デ、其學校漸々
 聲譽ヲ發セン時ニ方リ、不幸ニシテ耶修セシユ的教ノ詭計ニ中リ、忽チ瓦解セリ、

一千八百三十五年、日拉爾教育ノ爲ニ重要ナル一書ヲ著ハシ、之ヲ「エヂュケ
ーシヨナル、コウルス、イン、ゼ、マテルナル、ラングエジ、ホーア、ゼ、ユース、オ
フ、スクールズ、エンド、フ、ミリーズ」ト名シ、學校及ヒ一家ノ用ニ供スル爲
メニ仁慈ノ言ヲ以テ教育ノ道路ヲ示スト云ヘル義ナリ、

○約瑟蘭加斯得ジョセフ・ランカステルハ(一千七百七十一年ニ生レ、一千八百三十九年ニ卒ス)
英吉利ノ人ニシテ交誼學社ソサイタイ・オブ・フレンドノ社員ナリ、世人蘭加斯得ヲ以テ勸戒教學
法ノ創業者ト爲シ、勸戒ノ教則ヲ名ケテ蘭加斯得ノ教則ト云フ、蘭加斯得
ノ門人ノ中其等級ノ差高キ者、皆其同儕ヲ勸勵戒飭シテ其知識ヲ増進
セシム、

○蘭加斯得ガ勸戒ノ教學法ハ少年ノ才氣ヲ發達スル爲メニハ頗ル良
法ニシテ其智識ノ低卑ナル者モ忽長進シテ高等ノ者ト肩ヲ比スルコ
ト得ベシ、教師ヨリ新ニ業ヲ受クル時生徒相互ニ勸戒シテ之ヲ復習ス
ルヲ以テ其之ヲ講解スルハ却テ教師ノ教フルニ勝ル者アリ、理論上ヨ

リ之ヲ言フキハ此教學ハ頗ル宜シキニ適スルガ如ナルヲ以テ英吉利
及ヒ亞米利加ノ通都大邑ニ於テ一時此法ヲ採用セシ所甚多シ、然ルニ
實際上ヨリ之ヲ觀ルキハ生徒ノ得ル所ノ學識多クハ粗暴ニシテ精粹
ナラズ、誤解謬悟ヲ爲スト亦少ナカラス、是ニ依テ近時ハ諸國ニ於テ全
ク此教學法ヲ廢セリ、勸戒法ハ本、蘭加斯得ノ創案スル所ニ非ズ、蘭加斯得
ヨリ二百年前トロツツェンドルフ托祿前多弗此教學法ヲ創メ、北斯答洛日ニ至リテハ既ニ
之ヲ實地ニ施シ用ヒタリ、然レモ其法ノ完全周備セシハ蘭加斯得ノ力
ニ依テ得タリシ者ナリ、一千八百十八年蘭加斯得亞墨利加ニ居テ移シ
竟ニ其地ニ卒セリ、

○古來ヨリ名儒ノ賢徳アル者貧民ノ教育ニ厚ク心ヲ用ヒ以テ全國教
育ノ爲メニ鴻益ヲ爲セシ者甚多シ、阿伯林オベルリンノ牧師パストル板得拉路塞ボードラロウセイノ如キモ
其一人ナリ、(一千七百四十年ニ生レ、一千八百二十六年卒ス)此人教育ノ
事ニ熱心シ、堅忍撓マザルニ由リ、遂ニ陋僻ナル山民ノ半蠻ナル著ク教

化シテ智識アリ、懇情アル、幸福ハ民ト爲セリ、又色爾勒兄弟アリ、兄ハ普魯斯ノ高等學校ノ議員ニシテ弟ハ裴健ノ孤子貧兒ノ教育院ノ監督兼貧兒學校ノ教師タリ、兄弟共ニ下等人民ノ教育ニ力ヲ盡シ、頗ル其功驗ヲ顯ハセリ、又約各蔽爾利ト云フ者アリ、古流都林弇ニ在ル師範學校ノ校長タルコト五十年、其教育ノ法良善ナルヨリシテ、能ク其光輝ヲ瑞西、法蘭西、日耳曼、英吉利ノ諸國ニ發セリ、

○仁惠學派ノ教育ハ七十年前ヨリ歐羅巴及ヒ合衆國ニ於テ大ニ其歩ヲ進メタリ、方今歐羅巴ニ在ル聾啞ノ學校二百所、盲人ノ學校一百餘所、痴人ノ學校二十所、遊蕩子及ヒ罪人ノ懲戒學校五百餘所ニ及ヘリ、
○改過學校ノ教師ハ訶命(翰堡ノ近傍)ニ於テ「ウ、井ケルン、麥達里」ニ於テ「デ、メツツ」及ヒ「アレナグチル、デ、クルテイレス」比律悉ニ於テ「ヂュクペチア」
「路易塞勒多」ニ於テ「ポール」英吉利ニ於テ「タルチル」シレヌ「ロイド、ベ」
「ケル」等ノ諸人ハ皆其中ノ秀出セル者ナリ、

○亞米利加合衆國ニ於テハ仁慈ノ學校ノ盛ナルコト歐羅巴ニ越タリ、唯改過學校ニ至リテハ歐羅巴ニ一步ヲ讓レリ、此學校ノ合衆國ニ在ル者ハ其教則中ニ一ノ良善ナラザル者アリテ其法ハ他日必ス改正セザルベカラザル者ナリ、

○方今文明諸國ノ教育ノ狀ヲ觀ルニ益進ンテ良善ノ地位ニ赴クノ勢アリ、先ッ人民ノ智識開發ノ度ヲ察スルニ古代ノ歴史中未ダ今日ノ如キ高度ニ達セシ者ナシ、諸學術ノ查察考究ハ六十年以來一層ノ精微ヲ盡シ、學問ノ境域ハ著ルキ廣大ヲ致シ、健全ノ學ハ人間ノ爲メニ學問ノ新世界ヲ開キ、語學文學モ亦其範圍ヲ擴張シ、其題目方法共ニ益粗ヲ出テ精ニ入レリ、印書ノ術ハ近來マテハ國中ノ工藝中ニ於テ第二等或ハ第三等ノ勢力ヲ有セシガ、方今ハ進ンテ第一等ノ勢力ヲ有スルニ至レリ、新聞紙ノ如キハ千七百年代マテハ之ヲ讀ム者至テ少ク、人民ノ知覺ニ感應ヲ爲スコトハ甚々小ナリシガ、今日ニ至リテハ大抵一戸毎ニ必ス一

新聞紙ヲ讀ム者アリテ、人民ノ知識ヲ擴メ思考ヲ進ムルヲ、他物ノ能ク及ブ所ニアラズ、修身ノ教モ全體ノ勢ヲ見ルニ心理ノ學ト並ヒ進ンデ互ニ優劣ナシ、唯健全ノ學ハ其實際ニ行ハル、一修身心理ノ二學ニ及バズト雖モ、其學ニ用フベキ材料ハ已ニ具備シテ不足ノ患ナキニ似タリ、

第二十二

世界中有名ナル諸國ノ教育ノ狀 英吉利 蘇各蘭 阿爾蘭 法蘭西 西班牙 葡萄牙 天主教宗國 撒丁耶 多加納那 不勒 土耳其 希臘 魯西亞 拉比蘭 芬馬克 挪爾威 瑞典 丁抹

○方今世界ノ教育進歩ノ狀如何シヲ知ラシムルガ爲メニ天下著名ノ諸國ノ教育法及ヒ合衆國ノ教育統計表ヲ採録シ、以テ此簡短ナル教育史ヲ終ヘント欲ス、英吉利ニ於テハ大學院ニ入ル者ノ爲メニ適當ノ法ヲ設ケ、國人ヲシテ容易ニ此院ノ教育ヲ受ルヲ得セシム、堪比日ト阿

斯佛トニ在ル兩大學院ハ、經典ノ希臘拉丁ヲ數學ノ理ヲ學ハシムルヲ以テ主ト爲スト、雖トモ人間ノ智識ヲ開發スルノ功モ亦甚多シ、倫敦ノ大學院ト及ヒ國教ニ非ザル所ノ諸博士院ニ於テハ、更ニ物理ノ學ヲ研究スル者アリ、又以敦拉克比、哈婁惟西、閔斯得、溫識特、基督何斯比達等ノ諸學校ハ皆政府ヨリ許多ノ資金ヲ付與シテ之ヲ維持スル者ニシテ、多シハ經典ト數學ヲ教フルヲ以テ主ト爲ス、

○然ルニ全國一般ノ教育ニ至リテハ、此國ノ法、歐羅巴大陸ノ諸國ニ及バザル者多シ、其中殊ニ教育普及ノ妨碍ヲ爲ス者ハ宗教ノ一事ナリ、其一ヲ舉テ言ヘバ、上ニ記セル諸學校及ヒ其他政府ノ資助ヲ得ル所ノ學校ハ、盡シ英吉利ノ國教、英ノ國教ハ耶蘇新教ノ中、エノ管轄スル所ト爲ス、故ニ國教ヲ奉セザル民ノ子弟ハ、此學校ニ入ルヲ能ハザルヲ以テ、已ムヲ得ズ、各私學校ヲ求メ之ニ就テ學問ヲ爲サハルヲ得ズ、近年勞爾德伯老罕、沙爾啓率、的爾窩爾斯、沙弗得、斯不黎、亞爾勞爾、德斯丹禮及ビ

其他ノ教育ノ良友出ルニ及ビ、數年ノ間ニ大ニ此國教育進歩ノ功ヲ顯
ハシ、工場及ヒ商店ニ仕役スル童子ニモ無學ノ者ナク、淺易ニシテ實
用ニ適スルノ文字普ク僻邑陋郷ニ及ビ、下等ノ民族モ多ク讀書ヲ好ム
ノ心ヲ生シ、又中年ニシテ家業アル者ノ爲メニハ夜學校ヲ設ケ、又大陸
諸國ノ法ニ倣ヒテ日曜日ハ學校ヲ建テ、讀書ヲ初トシテ其他諸學ノ初
級ヲ教フル者甚多キニ至レリ、

○聾啞ト盲目トノ教育ハ法蘭西及ヒ合衆國ニ比スレバ、其界限差狹ク
聾啞ヲ教フルハ讀書習字ト工匠ノ技藝ノ數種ニ過ギス、盲者ヲ教フル
ハ指ヲ以テ字ヲ讀ムコト歌謠音樂、又ハ莫大小ヲ編ミ、蓆ヲ織リ、衣服ヲ
織リ、籃ヲ編ム等ヲ以テ限トス、

○英國ノ改過學校ハ其數ノ多キト其效ヲ奏スルノ著ルキト共ニ大ニ
諸國ニ賞賛セラル、此學校ノ爲メニ、人民ノ過惡ヲ改メテ善良ノ都人士
ニ爲ル者數百人ニ下ラスト云フ、

○蘇格蘭ニ於テハ、大學校ノ制度學則ハ英吉利ニ及バス、又此國ノ大學
院ノ教師ハ其俸給廉ニ過クルヨリシテ、良教師ヲ得ルハ甚難シ、然レモ
第二等ノ學校及ヒ小學校ノ教育ハ却テ英吉利ニ勝レリ、又牧師教會ノ
學校ハ其法完全ナラザル者ナレモ、方今已ニ日々進歩ノ勢アリ、仁惠ノ
諸建造、盲啞貧孤ノ教ニ至リテハ多ク、維陀河英國ト蘇國トノ以南ノ地ニ
勝レルノ稱アリ、

○阿爾蘭ノ民ハ古代ハ無知蒙昧ニシテ叛亂ヲ好ムノ名アリシガ、方今
ハ教育ノ普キ智識ノ開ケタル共ニ歐羅巴諸國中ノ上等ニ位セリ、近今
數年ノ間ニ良善ノ學校大ニ其數ヲ増シ、農民ノ智識ノ度ハ却テ英國ヨ
リ高シ、此國ハ三十年以前、波羅特士敦ト加特力敦ト大ニ教法ノ爭論アリ
シヨリ、兩教ノ徒互ニ奮勵ノ氣ヲ生シ、各許多ノ學校ヲ建テ、競テ敵教
ハ上ニ出ント欲シ、終ニ全國ノ童子ヲ驅リテ學校ノ内ニ入ラシムルニ
至レリ、此學校ハ兩教ノ建ル所共ニ教事ト世事トヲ兼學バシム、故ニ英

國ノ學校ノ國教ヲ以テ管理スル者ニ比スレハ其益ヲ爲スヲ却テ大ナリト云フ、

○法蘭西ハ久シク教育ノ最上級ノ名ヲ得タル國ニシテ殊ニ數理ノ學ト格物窮理ノ學トニ至リテハ世界中肩ヲ比スベキノ國ナシ國中ノ通都大邑ニハ博士院講院ノ設盡ク備リテ其教導ノ法モ亦能ク完全ヲ致セリ、經典ノ學問ニ於テハ法蘭西ノ民ト日耳曼ノ民ト其優劣ヲ決シ難ク文學ニ至リテハ英吉利ノ民ト其高下ヲ定ムルヲ能ハズ、

○一千七百九十三年ノ革命大亂ノ時ヨリ、一千八百三十年ニ至ルマデ、初等學ノ教育ハ大ニ衰ヘタリ、路易腓立位ニ即クニ及ビ深ク教育ノ事ニ心ヲ用ヒ幾騷ノ助ヲ假リテ大ニ其法ヲ改メ十八年ノ間ニ大ニ教育ノ面目ヲ一新セリ、是ニ依テ一千八百五十年ニハ全國ノ教區三萬八千ノ内、小學校ノ設ナキハ二千五百區ニ過ギズシテ國民九分ノ一ハ皆小學校ノ生徒タリ、此小學校ノ教則ハ大抵惹哥多ノ法及ビ基督ノ教會ノ

法ニ據リ、記憶ヲ專トシテ理會ヲ後ニシ以テ生徒ヲ教授ス、而シテ其教授法ハ漸々舊ヲ改メテ新ニ進ムノ勢アリ、仁惠ノ學校、改過ノ學校及ヒ其他特別ニ建立セル學校モ教育ノ法皆其宜キヲ得タリ、其中ニ於テ聾啞ノ學校、盲目ノ學校及ヒ墨多黎ノ改過學校ハ歐羅巴ノ諸國ノ則ヲ取ル所ナリ、

○西班牙葡萄牙ノ教育ノ事ヲ記スルニ方リ贊美ノ言ヲ發スルヲ能ハズ、此二國ハ數年來人心ノ離解ト兵革ノ紛騷トニ由テ教育ノ道大ニ衰ヘ、一時光輝ヲ發セシ大學校モ大ニ頽廢ノ色ヲ現ハセリ、貴族富人ノ子ハ率テ教育ヲ受クルト雖モ學校ノ教則整立セズ、貧民ノ子弟ニ至リテハ唯家ニ在リテ父兄ノ教導ヲ受クルノミナリ、總テ此二國ノ民ハ加特カノ教法ニ沈溺スルヲ以テ大ニ教育進步ハ妨碍ヲ爲シ、一時ハ大ニ教育ノ事ニ奮發セシ者アリト雖モ、遂ニ其効ヲ見ルヲ能ハズ、今ニ至リ猶舊時ノ教則ヲ守リ、北斯答落日等ノ定メシ新教則ニ從フヲ知ラズ、初

ト雖モ其課業書ハ善美ナルト教則ハ完全ナルトニ由テ今日ニ至リテ歐羅巴ノ南部ニ於テハ最モ智識ニ富メルノ民ト稱セラル、ニ至レリ。

○多加納ハ壞地利ノ威權ヲ奉スルノ國ナルヲ以テ其國ノ教育ハ過半壞地利ノ教育法ニ從ヘリ中小ノ學校ハ頗ル世間ノ稱譽ヲ受ケ畢撒ト西爾拉ノ大學校ハ猶古代ノ美名ヲ失ハス然レモ歐羅巴ノ他ノ諸國ト比レテ之ヲ觀ルルハ此國ノ教育ノ狀ハ稍退歩ノ色ヲ顯ハセリ古代有名ノ麥的西ノ王家及ヒ但的利荷拿多ノ如キ碩學ハ皆此國ノ産コシテ其盛ナリシ時ハ教育ノ備ハレル智識ノ開ケタル基督教ノ諸國中ニ於テ第一等ト稱セラレタリ然ルニ近年ニ至リテハ書籍ノ草稿ヲ檢スルハ官アリテ出板ハ自由ヲ妨ケ大學校ヨリモ學識アル士ヲ出スヲ甚少シ。

○那不勒一名双西齊里ハ教育ノ等級ハ歐羅巴諸國中ノ下等ニ居レリ、

其内西齊里島ハ陸地ノ部ヨリ學校ノ數較多シ然レモ教學ノ法ハ未ダ善美ヲラステ童子タル者讀ムト書クトテ學ヒタル後ハ多クノ進歩ヲ爲サズ學院ト大學校ハ頗ル世間ニ稱セラルト雖モ政府ニテ壓制ハ政治ヲ爲スヲ以テ人民ノ智識行爲俱ニ伸張發達スルヲ能ハズ。

○土耳其ノ學校ハ皆摩哈麥教門ノ子弟ノ爲メニ建設セシ者ニシテ政府ヨリ法令ヲ立テ此教門中ノ人民ハ必ス其子ヲ學校ニ入レザルベカラザルノ義務アリトス其語學ハ唯土耳其語ト亞刺伯語トヲ學バシムルニ過ギスシテ其他ノ學科モ高等ノ者ナシ然レモ一千八百四十七年中間學校ノ教則ヲ定ムル以來教育ノ具大ニ備ハレリ此中間學校ナル者ハ歐羅巴ノ他國ニテ第二等ノ學校ト稱スル者是ナリ是ヨリ以前ハ此國ニハ唯「メクテブ」ト「メドレッセ」トアリシノミナリ「メクテブ」ハ即チ小學校ニシテ「メドレッセ」ハ習練學校ナリ此外猶所々ニ諸種ノ學校アレドモ其數則ハ至テ欠漏多キ者ナリ。

○希臘ギリヤハ其獨立以來大ニ普通教育ノ事ニ力ヲ用ヒタリ、雅典アテネノ大學校アカデメイア、教學ノ法頗ル其宜キニ適セリ、又人口繁庶ノ都邑ニハ第二等ノ學校セカンド・スクールヲ設ケ、小學區毎ニ大抵一ノ初等學校アリ、其教則ハ皆北斯答洛日ベスタロジノ法ニ用テ、教育ノ法此ノ如ク盛ナルガ如シト雖モ全國兒童ノ中ニ於テ學エデュケーションニ就ク者ハ猶四分ノ二ニ過ギズ、

○魯西亞ハ其民未ダ半化ノ稱ヲ脱スルコト能ハズト雖モ近年ニ至リ、教育ノ爲ニ大ナル奮發ヲ起セリ、其大學校ヲ始トシテ、兵學校、礦山學校、器械學校、工業學校、農業學校等ハ、共ニ周備完全ヲ以テ名アリ、又兵士タル者ノ子ソルダツトノ入學セルエデュケーション、小學校ハ、政府ヨリ生徒ニ學資金ヲ給與ス、其意ハ其子生長ノ後又父ノ職ヲ繼ガシムルニ在リ、魯國皇帝ノ詔令ヲニ趣意ハ、全國ノ一ユニバーサル小學區ニ必ス一ノ小學校ヲ建テシムルニ在リト雖、其童兒ノ學ニ入ル者ハ、歐羅巴魯西亞ノ中ニテ猶九分ノ一ニ過ギズ、防令皇帝ハ深ク國民ノ智識ト交際トノ狀ヲ進ムルニ意ヲ用ヒ、種々

ノ方法ヲ設ケテ其民ヲ勸勵スレバ、遠カラスシテ必ス其功驗ヲ見ルコトアラソ、

○拉比蘭ラヂランド、芬馬克フィンマクハ其人民讀書ヲ務メ、其中稀ニハ有名ノ碩學ヲ出ス、ナアリト雖モ、教育ノ法ハ甚備ハラスト云フベシ、アイスランド冰州ノ民ハ智識ニ富メル者多シ、其教育ナル者ハ家ニ在テ父兄ノ教ヲ受ルト、バスター牧師ノ訓話パストルニ由テ道ヲ知ルトノ二ツニ過ギズ、

○挪威ノルウェーハ他ノ諸國ニ比スレハ人口稀疎ナルヲ以テ、良善ナル學校ヲ建ルニハ極メテ不便ナリト雖モ、全國ノ狀ヲ通觀スルニ、其教育ハ能ク普及セリト云フベシ、都邑ニ住ム所ノ人民ヲ總計スルニ、全國人口ノ八分一ニ過ギズ、此民ニ施ス所ノ教育法頗ル完全ヲ極メテ、歐羅巴ノ諸國其上一ニ出ル者少シ、初等學校アリ、地方學校アリ、都府學校アリ、此都府學校ハ亞米利加ノアカデメイニ類似セル者ナリ、又實學校アリ、諸藝諸術ト方今諸國ノ語學トヲ教フ、又拉丁語ノ學校アリテ古代ノ經典ヲ教授ス、其外

兵學校、農學校、畫學校、衆學々校、師範學校、大學校アリ、又巡迴學校ナル者ナリ、此學校ハ教師タル者村里ヲ巡迴シ以テ其地ノ童兒ヲ教ヘ一村ニ留マレハ八週日ニシテ又去テ他ノ村里ニ行ク者ナリ、

○瑞典ハ全國ノ教育甚盛ナリ、學士西爾熱斯多命ノ盡力ニ由リ、一教區毎ニ必ス法則ニ協フ所ノ學校一所ヲ建ツベシト云ヘル法度ヲ定メタリ、又巡迴學校ノ數ヲ増スガ爲メ、多ク師範學校ヲ建テ教師ヲ養成ス、此巡迴學校ナル者ハ人烟稀疎ノ土地ニ於テハ甚々肝要ナル者ナリ、學校ノ教則ハ皆能ク完備シ、教導ノ法ハ益其歩ヲ進メントスルノ勢アリ、健全ノ學ハ此國ノ法最モ良善ニシテ、歐羅巴ノ諸國之ニ及ブ者ナシ、押沙拉ト龍多トニ在ル二所ノ大學校ハ其名諸國ニ高シ、

○丁抹ハ教育ノ事ニ於テハ久シク高等ノ地位ヲ占メタリ、全國ノ民數ト比較シ、教育ヲ受ル民數ノ最多キハ、歐羅巴ノ諸國中此國ヲ以テ第一トス、學校ノ教則ハ多ク北斯答洛日ノ法ニ從フ、又此國ノ學校ハ、

大學校ヨリ初等學校ニ至ルマデ諸種ノ學校悉ク順序ヲ逐フテ整備セ

第二十三

日耳曼列國 普魯西、薩索尼、瓦敦堡 埃地利、波希米、哥羅亞、西、及ヒ以大利ニ在ル埃地利ノ屬部 巴威畧、梅略稜堡、及ヒ日耳曼ノ諸小國 教育ノ事ニ心ヲ用ヒシ日耳曼ノ今代ノ學士 亞弗利加 埃及及ヒ土耳其ノ屬部 亞爾及耳、塞拉畧安、里卑利亞、岌朴哥羅尼 亞弗利加ノ其他ノ諸部 亞細亞 波斯、獨立韃靼、支那 韃靼、阿富汗、俾路芝、西伯利、支那、日本 西藏、暹羅、東京、緬甸、馬刺加、伽連、西言、印度、澳大利、新西蘭、及ヒ太平洋諸島

○日耳曼列國ハ教育ニ於テ總テ上等ノ地位ニ居レリ、然レハ細カニ之ヲ察スル時ハ、其中ニ亦多少ノ優劣ナキコ能ハス、今之ヲ三等ニ分ツ時ハ、普魯西、薩索尼、瓦敦堡ヲ以テ上等ト爲シ、埃地利ヲ以テ中等ト爲シ、巴

威略梅略稜堡及ヒ其他ノ諸小國ヲ以テ下等ト爲スベシ、普魯西ニ於テハ、北斯答洛日ノ教則ヲ多少増損シテ之ヲ用フ、初等學校ニ於テ最初ニ用ザル所ノ課業書ハ所謂讀本(オルビズ、ピクトス)ト云フナリ、其中ニ地學(日耳曼ノ地理)博物學算術語學等ノ初級ヲ集メ、童兒ノ誦讀ニ便ナラシム、讀本ニ記セザル所ノ學科ハ畫圖又ハ動植金石等ノ實物ヲ用ヒ、教師親ラ生徒ノ爲ニ之ヲ口授ス、

○初等學校ハ其學期ヲ定メテ八年トス、此學校ハ凡ソ國中ノ兒童必ラ入學セザルベカラザル者ニシテ、若シ入學ヲ厭フ者アレバ法律ヲ以テ強テ學ニ就カシム、若シ學問ノ全科ヲ受ント欲スル者ハ、初等學校ニ入リ、夫ヨリ都府學校ニ進ミ、更ニ實學院、技藝院ヲ歷テ大學校ニ登ルベシ、婦人ノ爲ニモ亦初等ヨリ進ンテ高等ニ至ルノ學校アリ、又大邑ニハ悉ク師範學校ノ設アリテ教員ヲ養成ス、然レモ國中ヨリ教員ヲ求ムルニ甚衆クシテ其養成スル所ヲ以テ之ニ充ルニ足ラズ、因テ一千八百五

十四年師範學校ノ學期ヲ短クシ、教員ノ學力ノ位ヲ低クシ、以テ其需ニ應ズルヲ得セシム、然レモ當時學士ノ說ニ深ク、此法ヲ以テ全國教育ノ爲ニ害アリトセリ、薩索尼、瓦敦堡ノ教育ハ、普魯西ノ法ニ據テ少シク之ヲ増損セシ者ナリ、而シテ全國教育ノ隆盛ヲ論スレハ、薩索尼ハ普魯西ニ一步ヲ進ムル者ト云フベクシテ、教育ノ效驗モ亦大ニ觀ルベキ者アリ、

○壤地利ハ其人民ノ智識ノ闡明スルヲ、普魯西及ヒ其他ノ二國ニ及バズト雖モ、方今益々上進スルノ勢アリ、壤地利本部ハ近年深ク普通教育ノ事ニ意ヲ用ヒ、初等學校ノ設甚盛ナルノミナラス、實學院ノ造立モ亦頗ル多シ、此國ノ實學院ハ北日耳曼ノ實學院ト其名ヲ同フスト雖モ、其教則ハ少シク異ニシテ、術藝ヲ教フルノ界限差廣ク、其等級モ差高シ、總テ此國ノ教育ノ法ハ撒干ノ法ヲ採用スル者ニテ、教育善美ノ極所ニ達スルハ前路猶長シト雖モ、此國人民ノ智識ハ歐羅巴諸國ニ於テ既ニ俊秀

ノ名ヲ得タリ、

○一千八百五十五年以來、強逼ノ法ヲ用ヒテ國民ノ就學ヲ勸ム、匈牙利、波希米、哥羅亞西、及ヒ意大利ニ在ル墺國皇子ノ所有地モ俱ニ墺國ノ法ニ從ヒテ其民ヲ勸誘教導セリ、

○巴威零、梅略稜堡及ヒ其他ノ諸小國ハ政府ニ於テ必チ人民ノ教育ニ用フルヲ普墺等ノ諸國ノ如ク深切ナラズ、故ニ教學ノ行ハルヲ亦大ニ之ニ及ハズ、唯巴威略ハ高等ノ教育ヲ行フニ力ヲ用ヒ、又慕尼克威略ノニ於テハ、工藝ノ事ニ勉強シ、常ニ日耳曼ノ最上等ヲ占頗セントスルノ意アリ、

○日耳曼ニハ目今教育ノ事ヲ論著セル學士多シ、即チ豐老麥爾、底斯、威克不碌克、滿呢墨耶、西皮爾都ノ如キハ、或ハ教育ノ史ヲ著ハシ、或ハ教育ノ法ヲ論シ、以テ國ノ文化ヲ助ケタリ、

○仁惠ニ屬セル教育ノ事ニ於テモ、日耳曼ノ諸國ハ其盛ナルヲ歐羅巴

ノ他國ニ勝レリ、聾啞ノ學校ハ其數殊ニ多ク、盲人ノ學校十所(或ハ十二所ト云フ)痴兒ノ學校二所(クレンチン)是ハ亞力伯山中ニ住居ノ爲メニ設タル學校四所(或ハ五所ト云フ)幼稚園(稚兒ノ爲メニ設タル園)數所、少年ノ罪人及ヒ浮浪者ノ爲メニ設タル改過學校數百所、孤兒學校ハ其數ヲ量難シ、貧兒ノ爲メノ工業學校モ其數亦甚多シ、其中壘多林、弁ニ在ル額斯達物爾業ノ學校ハ七百人ノ生徒ヲ養ヘリ、又施濟院ノ尼姑病院ノ看護婦等ノ爲メニ建タル學校アリ、其中開塞爾威的ニ在ル牧師弗黎多呢ノ學校ハ佛羅稜斯乃丁倪爾其教師ト爲リ、此等ノ婦人ノ爲メニ良正ノ方法ヲ教フ、又翰堡ノ近傍何倫ニ印涅密順ノ學校アリ、此學校ハ少年ノ爲メニ改過院、牢獄、病院等ニ入テ事ヲ執ルノ法ヲ教フ、合セテ之ヲ觀レバ、日耳曼人ハ總テ過失罪惡、欠乏要須ノ事アレバ、盡ク教育ヲ以テ之ヲ救正補充シ、以テ人民ノ性行ト生計ヲ良全完備セシメントスルガ如シ、

○亞弗利加ハ其全部ヲ通觀スルニ、教育ノ事ハ甚微々タル者ナリ、其北

師ニ於テ埃及及ヒ土耳其ノ屬地ニハ、摩哈麥教法ノ爲ニ建タル學校アリ、其教ヲ信ズル者ノ兒子ハ、其内ニ入リテ可蘭ノ書ヲ學ビ、其他算術ノ初步ヲ學ブ、法蘭西屬部ノ亞爾及耳ハ、法國ノ教則ニ據リ、語學ト稍高等ナル學科トヲ學ブ、英吉利及亞米利加屬部ノ塞拉零安ト里卑利亞トハ、總テ其本國ノ學則ニ從テ人民ヲ教育ス、又里卑利亞ニハ博士院アリ、炭林哥羅尼ニハ數所ノ小學校ト二所ノ博士院アリ、是ヨリ亞弗利加ノ東洋ニ濱セル諸部ハ、殆ンド教育ナシト云フモ可ナリ、

○總テ亞弗利加大州ノ内、亞刺伯人ノ足迹ノ及ビシ所ニハ、常ニ少シク讀書習字ヲ解スルノ人アリ、又海岸所々ニ散在セル葡萄牙ノ屬地ニハ、本國ヨリ移住ノ民アリテ、頗ル教育ノ事ヲ務ムルヲ見ル、此外猶處々ニ宣教師ノ建立セル學校ノ如キ者アレド、未タ教育ノ名義ヲ以テ之ニ冠ラシムルヲ能ハズ、

○亞細亞諸國ノ教育ハ、差亞弗利加ノ教育ニ優レリ、波斯ニハ古代ノ文

學未ダ全ク其傳ヲ失ハズ、入塔義斯巴恒ノ如キ回教ノ舊都ニハ、猶古代ノ遺風アリテ、方今ニテモ波斯ノ教士タル者ハ、必ス亞刺伯ノ文學ヲ學ブベキトト定ム、此交學ハ亞巴西的族ノ大教師ノ時、大ニ近國ノ尊重ヲ受テ著クナリ、

○未ヨリ東方ニ獨立鞑靼及ヒ支那鞑靼ト稱スル遊牧ノ民アリ、此民大抵盜賊剽竊ヲ業トシ、國中ニ書籍ト讀書ノ人ヲ見ルヲ至テ罕ナリ、阿富汗及ヒ俾路芝ノ民モ大概鞑靼ノ民ニ同シ、西伯利ノ地ハ、其大邑ニハ學校アリ、其教育ヲ受シ民アリ、然レモ學校ニ入ル者ハ、魯西亞ノ本國ヨリ漸逐ノ罰ヲ逢ヒシ者ガ、又ハ此地ニ來リテ職務ヲ執ル官吏ノ家族ニ限ルガ如ク、

○支那ト日本ノ教育ハ、第二節第三節ニ於テ既ニ其大略ヲ記セリ、蓋シ此二國ハ教育アリテヨリ既ニ二千五百年ノ久シキヲ經タレド、其教學ノ法未ダ至リテ、今日ト昔日ト太ク相異ナルヲナシ、西藏ニ於テハ其教

育ノ狀大抵支那ト相似タリ、暹羅、東京、緬甸ノ民ハ皆佛法ヲ篤信シ、其教育ノ法ハ總テ佛家ノ法則ニ從フ、馬刺加及ヒ馬來諸島ノ人民ハ、總テ教育ナシト云フモ可ナリ、

○後印度ニ於テ佛教ヲ奉セサルノ民族二種アリ、一チ伽連ト云ヒ一チ西言ト云フ、此二種ノ民數ハ、後印度ノ民數ノ大部ニ居レリ、此民甚愚蒙ニシテ、歐羅巴宣教師ノ此地ニ至ラザリシ前ハ、文字ヲ知ル者無カリシト云ヘリ、

○印度ニ於テハ二千年以來婆羅門ノ教法國中ニ行ハレ、其教學法昔日ニ比スレハ少シク其歩ヲ進メタルニ似タリ、英國ノ東印度公班衛ニ於テ婆羅門ノ教育ヲ擴メ、處々ニ其博士院ヲ建ツ、其博士院ニ於テ教育ヲ受シ者ハ、之ヲ用ヒテ公班衛ノ職員ト爲ス、又歐羅巴ノ宣教師ノ此地ニ來ル者種々ノ名自ヲ以テ高下諸等ノ學校ヲ建立セシ者甚多シ、此國ノ民英國ニ叛キテ亂ヲ起セシハ、盡ク諸所ノ學校ヲ破壞セシガ、今日ハ復

漸々ニ再造ノ功ヲ興スヲ見ル、

○澳大利ニテハ政府ニ於テ學校ヲ建築シ、更ニ其費用ヲ給ス、又悉德尼ト麥普尼ニ各一ノ博士院ヲ建ツ、達斯曼、新西蘭、交友、三維斯ノ諸島ニハ共ニ良善ノ學校アリ、殊ニ交友三維斯ノ二島ノ民ハ善キ教育ヲ受ケタル者多シ、三維斯諸島中ノ哈維島ニハ近年新ニ博士院ノ建造アリ、

第二十四

北亞墨利加南亞墨利加 東加那他西加那他 合衆國 北部南
部 西班牙開拓ノ亞墨利加諸部、墨西哥、中亞墨利加等 西印度
諸島、古巴、波德里各、牙賣加、特尼答、海地等 南亞墨利加 新加拉
那大、委內瑞拉、厄瓜多 法蘭西、荷蘭、英吉利所屬ノ亞亞那 巴西、
亞然丁、合邦、普納愛利斯、島拉乖、巴拉圭 智利、玻里非、秘魯

○亞墨利加大州ノ教育ノ狀ヲ案ズルニ、先ツ新著大島ハ教育ノ品位猶最下等ノ地ニ居ル、蘇不倫瑞克ハ人口ニ比較スレハ許多ノ小學校アリ、

又一博士院アレ其規制未ク完善ナラズ東加那他ハ大學校ヨリ小學校ニ至ルマデ數等ノ學校盡ク備ハリ其教則モ亦宜キニ適シ加フルニ年々進歩ノ勢アリ西加那他ハ人民ノ學事ニ勉強スルト智識ノ開發スルト亦世界中ニ於テ屈指ノ教ニ入ルベシ

○合衆國ハ教育ノ狀北部諸州ト南部諸州ト大ニ相同シカラズ北部ノ諸州ハ其始英人ノ此地ニ居テ徙セシ者既ニ教育ノ事ニ心ヲ用ヒ教育ノ國益増ルルコト彰著ナルヲ以テ人民學ニ進ムノ氣常盛ンナリ加フルニ人口甚稠密ナルノ故ヲ以テ學校ノ設國中ニ具備シ其規制モ亦完全ナル者多シ其中開創ノ日猶淺キ者アリト雖ヒ數年ノ間ニ於テ能ク進ンテ舊來ノ學校ト其肩ヲ比シ世界著名ノ諸國ノ學校モ駕シテ其上ニ出ル能ハサル者アリ

○南部ノ諸州ハ其人口ノ稀疎ナルト奴隸ヲ豢フ法ノ盛ナルト良民ノ財產ノ富裕ナラザルトニ由リ教育ノ行ハルハ大ニ北部ノ諸州ニ及

ハス然レモ其内亦教育ノ事ニ勉勵シカメテ其妨害ト爲ルベキ者ヲ除去シ以テ大ニ其進歩ノ途ヲ開キシ者アリ北加羅利那アラバ麻密梭里根大機奧尼西魯西亞納ノ諸州ノ如キ是ナリ

○上等ノ學科ニ至リテハ竟ニ英吉利法蘭西日耳曼ノ三國ニ及ブ能ハズ合衆國ノ博士院ハ其數一百二十餘アリテ附屬ノ土地施送ノ金幣甚多シト雖モ其學科ノ高深ナルハ英吉利ノ博士院法蘭西ノ講院博士院日耳曼ノ仕學院實學院拉丁學校ノ上ニ出ルル能ハス大學院ニ至リテハ哈華爾ノ大學院耶爾ノ博士院哥倫比ノ博士院ノ外ハ大學院ノ名目ヲ下スニ足ル者ナシ此三所ノ大學院ト歐羅巴諸大國ノ大學院ト比スルハ其等級大ニ彼ニ及バザルヲ覺フ

○初等學校ノ弘行ト人民智識ノ發達ニ至リテハ歐羅巴ノ諸國ヲ舉ケテ一モ合衆國ノ新英諸州及ヒ新約克州ニ及ブ者ナシ此諸州ノ人民ノ全數ト就學兒童ノ員數ヲ比較シテ之ヲ見ルニ普魯西奧地利薩索尼丁

抹ノ如キ強逼就學法ヲ行フノ國ト其數大抵相若ケリ以テ合衆國ノ小學設置ノ完備セルヲ知ルベシ此國ノ教育法ハ多ク北斯答洛日ノ說ヲ採用セリト雖モ亦非連山ヘルレンベルク反ヒ其朋友門人ノ說ヲ雜ヘ取リテ之ヲ定ムル者ニシテ單ニ北斯答洛日ノ說ニ依據セシ者ニ非ズ蘭加斯得ラシカスアルノ勸戒教育法モ一時ハ盛ニ國中ニ行ハレシガ今日ニ至リテハ全ク廢絶セ

○此國ノ學士ヴィドナ烏德不利日ウイカ甲爾的ゲラリツト伽考得及ヒ近今ノ何拉斯曼ホラスマン顯利巴爾リバル奔多ドマレツト大關秘日バールホソ亞豐蘇李ソホツテ的爾及ヒ其他ノ諸名家深ク教育ニ力ヲ用ヒ教導ノ真趣意ヲ發揮シ普通學校ノ教則ヲ釐正シ以テ大ニ合衆國ノ光輝ヲ耀カセリ又合衆國ノ日曜學校ハ歐羅巴諸國ノ學校ト異ニシテ世事シチ教事コ對トノ教導ヲ專トスル者ニ非ス

○合衆國ハ仁惠及ヒ改過ノ學校モ亦多シ則チ聾啞ノ學校二十餘盲人ノ學校モ大約同數ナリ痴兒ノ學校七所改過ノ學校十五所アリ其他

職業學校兵學校海軍學校機術學校化學學校農學校アリテ此内農學校ハ其數殊ニ多シ

○西班牙亞墨利加諸國西班牙亞墨利加トハ往昔西班牙人が墨西哥及開創奪略セシ亞米利加諸部ヲ云フ墨西哥及ヒ中亞墨利加此二部ハ數兵禍ヲ被テ變亂ニ逢ヒシト諸方ノ人種ノ大ニ混淆セルトニ由リ教育ノ位格ハ甚卑下ノ地ニ在リテ往昔西班牙ノ屬部タリシトヨリモ更ニ一等ヲ降リシニ似タリ二國共ニ全國ニ通行セル學制アルヲ見ズ然レモ私立ノ學校又ハ宗教附屬ノ學校ノ中ニハ或ハ良善ノ者アリ首都墨西哥ニハ一ノ大學院アリト雖モ國民ノ内不學ニシテ蒙昧無智ナル者其大分ニ居レリ

○西印度諸島ノ中古巴キユバハ一千八百四十一年以來大ニ教育ノ事ニ力ヲ用ヒ今日ハ大學院二所博士院數所アリテ其規制教則皆至テ完善ナリ小學校ノ數ハ合テ六百所ニシテ生徒ノ數ハ一萬人ナリ之ヲ全島ノ人口ニ比スルニ大約百人ニシテ就學スル者一人ノ配額ニ當ルナリ僻鄉

ノ民ハ無智愚蒙ナレド、都邑ノ民ハ智識大ニ進ミ、良善ノ學校ハ皆都邑
 ノ中ニ在リ、資産ニ富メル者ハ其子ヲシテ他國ニ留學セシムル者多シ、
 ○牙賈加嶋ニ於テハ、小學ノ教育ハ古巴ニ勝リ、近今ハ黑色ノ土人ト雖
 亦教育ノ人生ニ利益アルヲ知ルニ至レリ、就學ノ生徒ノ數ハ全島
 ノ人口ニ比スルニ三十八人中ノ一人ニ當レリ、富民ハ大抵其子ヲ法蘭西
 ニ送リテ留學セシム、多米尼加共和部ト波德里各島ハ教育未ダ興ラズ
 シテ學校ノ設置々々ナリ、特ニ答島ニハ良善ノ學校アリ、此他ノ諸小島ハ、
 教育ヲ行フモ其利益ヲ得ルヲ太多カラザルニ依リ、自然ニ人民ノ力ヲ
 此事ニ用フル者ナシ、

○南亞墨利加ノ内新加拉拿大委內瑞拉厄瓜多ノ三國ハ、學校ノ設甚少
 ナク、教育ノ狀甚微々ナリ、白人種混合人種ノ中ニモ獨讀書習字ヲ解セ
 ザル者多シ、土番ニ至リテハ、其蒙昧ナルヲ推シテ知ルベシ、法屬亞阿那、
 荷屬亞阿那ハ教育ノ法アリト雖モ、未ダ完全ト稱スベカラズ、英屬亞阿

那ハ教育頗盛ニシテ學校ノ數亦多シ、印甸土番尼鄂里人ヲ併セ、全部人
 口中十三人ノ一人ハ既ニ學ニ就ケリ、巴西ハ方今教育ヲ民間ニ擴充セ
 ントスルノ意切ナリ、國王親ラ學事ニ盡力シ、良善ナル學制ヲ定メタリ、
 然レド通都大邑ノ外ハ國民未ダ進ンテ學ニ就ク者ナシ、凡ソ國中ノ大
 邑ニハ大概博士院ノ設アリ、三保羅ト伯爾能不各ニハ大學院アリ、其他
 翰林院或ハ講院アル都邑亦多シ、此國ニ在ル此ノ如キ高等學校ハ、其建
 創總テ小學校ノ前ニ在リ、又此國ニ日耳曼人ノ殖民地アリ、其地ノ民ハ
 多ク日耳曼中文化開明ノ國ヨリ移リシ者ナレバ、教育ノ法何レモ皆盛
 ナリ、方今巴西全國ノ人口ト就學ノ生徒ト其數ヲ比較スルニ、未ダ六十
 分ノ一ニ及ハズ、

○亞然丁合邦 或ハ拉不拉 及ヒ普納愛利斯ハ今日ニ至ルマデ教育ノ事
 ニ意ヲ用フル者少シ、此國ノ民種ハ瓜古士ナル者ヲ多シトス、此民甚粗
 野愚昧ニシテ、書籍ト學校トヲ見レバ之ヲ慢侮厭棄スルノ風アリ、普納

愛利斯ハ近年獨立セシ國ニシテ同名ノ首府アリ、此地ト亞然丁合邦中ノ大邑トニハ、外國人ノ居留セル所アリ、此ノ如キ居留ノ地ハ、人民ノ智識大ニ開ケ高等ノ學校ヲ設ケテ學業ヲ勉ムル者多シ、普納愛利斯ヨリ發行セル新聞紙ハ、其世間ニ行ハル、ト南亞墨利加ノ諸國ニ冠タリ、○烏拉亞ハ其教育ノ度、亞然丁合邦ニ比スレバ更ニ低キト一等ナリ、蓋シ此國ハ近年戰爭ノ連續セシヨ因リ、人民ノ智識ヲ奪ヒテ之ヲ愚蒙ノ窟ニ投ゼシ者ナルベシ、巴拉圭ハ之ニ反シ、大統領佛郎士亞ノ創立セシ教會ノ學校ナル者許多アリテ、教育ノ事ニ至リテハ、南亞墨利加諸國中ノ上等ニ居ル、智利ハ教育ニ力ヲ用フルト亦南亞墨利加中ノ上等ニ位ス、學校ハ大學院ヨリ小學校ニ至ルマデ高下ノ諸級皆備ハル、其小學校區ノ中、或ハ許多ノ學校ヲ建テ、教導ノ法能ク具備セル者アリ、或ハ未ダ一校ノ設ナキ者アリ、然レモ全國ノ狀ヲ觀通スルニ、漸々進メテ隆盛ノ地ニ至ラントスルノ勢アリ、此國ノ博士院ニテ教フル經典ノ學、殊ニ拉

下語ノ學ハ、歐羅巴諸國ノ博士院ノ學ニ劣ラズ、又博物學ヲ好ムノ士多ク、中ヨリ學力深遠ノ者アリテ、此學科ニ著ルキ功績ヲ顯ハセリ、玻里非ト秘魯ハ教育ノ盛共ニ智利ニ及バズシテ、國民大抵愚蒙ノ界ヲ脱セズ、國々大邑ニハ學校ノ設アリテ、首都利馬ニハ一千五百五十一年以來既ニ一ノ大學院アリ、然レモ全國學事ノ狀ヲ通覽スルニ、國民猶學問ヲ厭ヒ、讀書習學ヲ知ラズシテ、自愧ヤザル者多シ、故ニ政府ニ於テ官吏ヲ舉用セントスルニ常ニ其人ニ乏シキヲ苦ムト云フ、

○凡ソ基督教ヲ奉ゼル諸國ノ教育ノ狀ヲ案ズルニ、五十年以來其教導開進ノ器具方法大ニ備ハリテ、其功驗ヲ顯ハストモ既ニ大ニ著ルシ、日耳曼列國ニ於テハ、師範學校ノ設ヲ盛ニシテ、教員ヲ養成スルトテ、生徒ノ身體ヲ痛責スルノ罰ヲ廢シ、殊ニ語言論說ノ學ト黑板ヲ用ヒテ教授スルノ法ト考思チ長セシムルノ學トテ、務メ、英吉利ニ於テハ、古代ノ過嚴ナル教授法ヲ廢シ、良善ノ教員ヲ養成シ、良善ノ課業書ヲ編成ス

ルヲ以テ主要ト爲ス、亞米利加合衆國ニ於テハ、學○校○ノ○建○築○ト○師○範○學○校○
ノ○方○法○ト○改○正○シ、教員タル者ノ生徒ヲ教授スル法ト、教員タル者相會
合○シ○テ○其○術○ヲ○研○究○スル○ト○テ○天○地○球○儀○黒○板○圖○畫○等○ノ○用○法○ヲ○巧○ニ
シ、教授ノ法ハ温厚親懇ヲ主トシ、舊來行ハレシ課業書ハ其體裁宜シキ
ヲ得ズシテ缺失多キ者ナルヲ以テ盡ク之ヲ改メ、學科ノ正路ヲ明ニシ
生徒ノ爲ニ利益多キ書ヲ撰ビテ之ニ代ルニ至レリ、

○近年ニ至リ、學士教師等競ヒテ課業書ヲ編成スルニ因リ、僅數年ノ間
ニ課業書ノ數大ニ増加シ、目今ハ却テ課業書ノ多キニ過ルノ病アリト
云ヘリ、然レモ五十年以來教育ノ道非常ノ進歩ヲ爲シタレバ、課業書ノ
如キモ是ニ准シテ非常ノ數ヲ加ヘサルベカラズ、世ノ課業書ノ過多ナ
ルヲ患フル者ハ知ラズ、何物ニ比較シテ之ヲ過多ナリト云フヤ、亦其說
ハ太ク粗漏ナルヲ覺ユルナリ、唯目今課業書ニ就テ憂フベキハ、其書ノ
淺薄ニ流ルルニ在リ、世ノ學士ノ課業書ヲ編成スル者ハ偏ニ其解ヲ易

キヲ主トスルヲ以テ、其書ノ平易簡直ナルハ實ニ其極ニ至ルガ如シ、然
レモ其書中ニ含有スル所ノ實質太ク多カラザルヲ以テ、生徒ノ之ヲ讀
ム者其身ニ得ル所ノ智識ハ其費スル所ノ年月ト比較シテ許多ノ利益ア
ラザルニ似タリ、

○學校營造ノ法ハ目今大ニ其宜ヲ得、殊ニ合衆國北部ノ諸州ニ於テハ
其法最モ良善ナリ、顯利巴爾拿大ニ學校營造ノ事ニ力ヲ用ヒ、許多ノ功
驗ヲ奏セシヨリ、其他ノ學士モ亦此事ニ盡力スル者多シ、

○是等ノ諸事教育ノ爲ニ利益ヲ爲ス固ヨリ大ナリト雖モ、教育進歩ノ
實効ヲ奏スルハ、殊ニ師範學校ノ設立ト、教員ノ教授法ヲ習學スルト、教
員ノ相會合スルト、定時ノ報告ヲ發スル等ノ諸件ヲ以テ第一トス、近今
ノ定説ニハ、教員タル者ヲシテ各其實驗ニ據テ其教學ノ法ヲ改善シ、生
徒ヲシテ能ク諸學科ニ進入シ易カラシムルヲ以テ、教育ノ良法ト爲セ
リ、果シテ能ク此ノ如クナルキハ、大ニ小學ノ品格ヲ高クシ、教育ヲシテ

益秀美ノ地位ニ進マシムルヲ得ベシ、

○小學以上ノ教育ニ於テモ實ニ上進ノ功蹟ヲ顯ハシタリ、即チ大中學
校ノ學科ハ其範圍ヲ増廣シ、生徒ノ免許ハ其學力ノ品位ヲ高クシ、生徒
ノ試験ハ實力ニ當ラントシ、務メ、學師ニ望ム所ノ學力ハ舊時ヨリ高等
ナル者ヲ望ミ、專門學校ハ總テ大學院ノ各種ノ學科ト相連續スルヲチ
務メ、是カ爲メニ礦山學、化學、物理學、機械學等ノ如キ諸學校ノ設アリ、
○天學ハ、歐羅巴亞墨利加共ニ五十年以來著ルキ進步ヲ爲セリ、物理ノ
諸學ニ於テモ千七百年代ニ比スレハ新ナル發明甚衆シ、

○彼此ノ事迹ニ據テ之ヲ考フレバ、五十年來教育ノ大ニ上進セシハ決
シテ疑ナキトナルベシ、故ニ文明開化ト稱スル國ニ於テモ、今日ノ文明
ハ古來ノ民ノ管テ見サリシ所ナリ、而シテ支那日本印度ノ民ハ如キハ
電綫、機車ノ衝動ニ因チ三千年來ノ長夢ヲ覺シ、始メテ其智識ヲ開發シ、
學術ヲ練習セントスルハ心ヲ起シ、光輝煥發セル西國ノ民ト交通シ、以

テ其厚賜ヲ受ルハ必ス遠キニ非ルベシ、

教育統計表

○今茲ニ記セルハ一千八百五十八年ノ始メニ發行セル亞墨利加合衆
國中ノ諸州ノ教育表ナリ、童子ノ學齡トハ五歳ヨリ二十歳ニ至ルノ間
ヲ云フ、合衆國ノ諸州中一千八百五十年以來人口ノ檢査ヲ爲サザル者
アリ、此ノ如キ州ニ於テハ總人口ト就學生徒ノ比較數ハ明確ヲ得ルコ
能ハス、又南部西部ノ諸州ハ學事ノ報告常ニ完全ナラザルヲ以テ、表中
亦闕失ノ件アルヲ免カレス、

合衆國公學校統計表

州及部名	地面ノ廣サ	人口總數	學齡童子ノ全數	就學生徒ノ全數
緬	二五、〇〇〇	五八三、一六九	二〇八、八五四	一五一、六三七
新罕什	八、〇三〇	三一七、九七六	一一二、九六八	九六、一九九
津門	一〇、二〇〇	三二四、一二〇	九六、五六八	九〇、一一〇

麻沙朱色	七、二五〇	一、一三三、一二三	二八三、〇〇〇	二〇三、〇三一
羅德島	一三、〇六	一四七、五四五	三五、九〇二	二六、四八〇
千尼底吉	四、七五〇	三七〇、七九二	一一一、七二七	七一、二六九
新約克	四六、〇〇〇	三四七〇、四五九	一、〇五八、三三四	八三二、七三五
賓西瓦尼	四七、〇〇〇	二、三二一、七八六	五二三、七五四	五九八、七六八
新日西	六、八七一	四八九、五五五	一九六、九四四	一二九、七二〇
特拉華	二、一二〇	九一、五三二	三一、五四四	一一、四六八
倭海病	三九、九六四	一、九八〇、三二九	七九二、〇一九	六〇三、三四七
因底阿那	三三、八〇九	九八八、四一六	四三九、二五七	一九五、一七六
伊理奈	五五、四〇九	一、三〇六、五七六	三六九、〇六四	三二三、三九三
密執安	五六、二四三	五一、一六七二	二〇四、二六八	一四二、三三四
衣阿華	五〇、九一四	五〇九、四一四	一九五、二八五	七九、六七二

威士辛心	五三、九二四	五五二、四五二	二四一、六四七	一六七、一一〇
密梭里	六五、〇三七	九〇〇、〇〇〇	三〇二、三二三	九七、九〇七
根大機	三七、六八〇	九八二、四〇五	二八七、二二二	一三九、八〇五
勿吉尼亞	六一、三五二	一、四二一、六六一	四一四、三一八	四九、五四七
馬理蘭	一一、〇〇〇	五八三、〇三四	一八六、八九六	三三、一一一
魯西亞納	四一、三四六	五八七、七七四	九六、二八〇	三六、〇〇〇
典尼西	四四、〇〇〇	一、〇〇二、七二七	二八八、五三八	一二六、三一七
北加羅利那	四五、〇〇〇	八六九、〇三九	二四五、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
若耳治	五八、〇〇〇	九三五、〇九〇	二七五、三一六	七七、〇一五
阿拉巴麻	五〇七、二二二	八四一、七〇四	一七一、〇七三	八九、一六〇
南加羅利那	三〇、二二三	六六八、五〇七	一一四、二八二	一九、一三二
密西失必	四七、一五一	六〇六、五二六	一八三、九〇三	一八、七四六

合衆國公學校統計表二

州及部名	一年學校供給金	教員及事務官供給料中數		學校資本金	每年學校中數	生徒一人ノ束脩金中數
		男	女			
阿干薩	五二、一九八	二四七	一一二	七五、〇〇〇	、	、
佛羅里達	五九、二六八	一一〇	八二三	二二、五一二	、	、
得撒	二七四、三五六	二一二	五九二	一〇四、三一三	、	、
加利福尼	一五五、五〇〇	五〇七	〇六七	二六、一七〇	一七、二二三	、
				七、六九四、二五一	四、五七六、六二一	
緬	弗六三四、三四一、八九	弗二七、三〇	弗一四、四〇	弗一六六、三四六	五、	弗二、三
新罕什	二二五、九四二、〇〇	二六、三一	一四、四七	、	五、	二、九八
注門	二六五、六二三、〇〇	二六、九二	一五、六四	、	五、五	、
麻沙朱色	一、二四六、三〇九、七六	四六、六三	一九、一七	一、六五三、〇八二	七、五	一一、

羅德島	一六七、五一九、七五	三四、五〇	二〇、三四	七三、八九四	八、五	五六、〇
千尼底吉	三五八、二三五、〇〇	三〇、〇〇	一六、六〇	二、〇四六、三九七	、	三、〇二
新約克	三、九二九、八九八、九三	、	、	二、五二六、三九二	七、八	三、九七
賓西瓦尼	二、二三八、八四〇、七四	二四、〇〇	一六、六〇	、	五、一三七、〇九	、
新日西	五〇三、九二九、四八	三三、五〇	一九、七五	四三〇、五八三	九、	五、九二
特拉華	七八、二五三、一四	、	、	四四〇、五〇六	七、六	、
修海阿	二、四三二、〇六九、六五	二七、七一	一六、二二	、	六、八	三、三〇
因底亞那	八二一、七一三、八〇	二三、七六	一六、八四	四、九二九、八六六	三、〇三四、二一	、
伊理奈	三〇二、九九八、〇〇	二五、〇〇	一二、〇〇	二、九五三、五九四	六、	、
密執安	三三一、一五三、八九	、	、	一、三八四、二八八	五、六	一、六〇
衣呵華	一九八、一四三、〇〇	、	、	三、〇三〇、五四四	、	、
威士干心	四八四、〇〇〇、〇〇	二七、〇二	一四、九二	二、八四五、八四六	五、六	二、九五

寄宿學校ノ數

一、〇〇〇

學校一所毎ニ生徒ノ數平均五十人ニシテ 總計

五〇、〇〇〇

生徒毎一人一年ノ寄宿並受業料ノ平均弗一五〇、ニシテ此總計

弗七五、〇〇〇

○近今ノ報告ニ據レバ高等學校ノ統計左ノ如シ、

生徒ノ數

生徒毎一人ノ學費

學校費用ノ總計

一五二 コレレ 博士院 一三、五〇五

弗一六一

弗二、一七四、三〇五

五一 神學校 一、五二〇

一三〇

一九七、六〇〇

一七 法律學校 一〇、五四

二〇〇

二一〇、八〇〇

四二 醫學校 四、九三〇

二〇〇

九八六、〇〇〇

五〇 盲人學校、聾啞學校、痴兒學校

四、〇〇〇

一五〇

六〇〇、〇〇〇

二〇 博士院ニ連繫セサル專門學校

一、二〇〇

二〇〇

二四、〇〇〇

合計

弗四、四〇八、七〇五

○上ニ記シタル私立學校寄宿學校ノ一年ノ費用ヲ此數ニ加フルルハ

一、二〇七五、〇〇〇

○上表ニ記セル公立小學校ノ費用ヲ此上ニ加フルルハ

一七、五五九、五二一

右ノ諸數ヲ合スル時ハ、合衆國ニテ毎一年教育ノ爲メニ費ス所ノ金額

ノ總計 弗三四、〇四三、二二六

明治十六年八月三十一日出版御届

定價 金五拾錢

翻刻出版人

東京府平民

内田芳兵衛



日本橋區西河岸町
十三番地

賣 捌 所

芝區三島町二丁目
日本橋區橫山町二丁目
同區本町三丁目
同區通旅籠町
同區通油町
同區馬喰町二丁目
同區通壹丁目
同區通二丁目
同區通三丁目
同區橫山町三丁目
同區五軒町
神田區後町四丁目
大坂備後町四丁目
山梨縣甲府常盤町
陸前仙臺國分町

山中市兵衛
内田彌兵衛
小金港八郎
小水林次郎
水川治兵衛
石川茂兵衛
北島佐兵衛
稻田善兵衛
丸善文助
辻岡原書房
小笠原書房
吉岡平助
内藤安右衛門
伊勢安右衛門

笠間益三先生編

○頭新撰日本歴史

全三冊

定價 金七拾五錢

ト、ホソタ氏原書
神崎直三譯

○都代數學

上卷
下近刻

定價 金壹圓廿五錢

井上哲次郎抄譯

○倍因心理新説

上帙
下帙

定價 金五拾錢
同 金五拾五錢

青木輔清編

○小學博物指教

全二冊

定價 金廿八錢

山口憲編

○小學博物指教字引

全一冊

同 金拾五錢

文部省御藏版

○加爾庶物指教

上下合冊

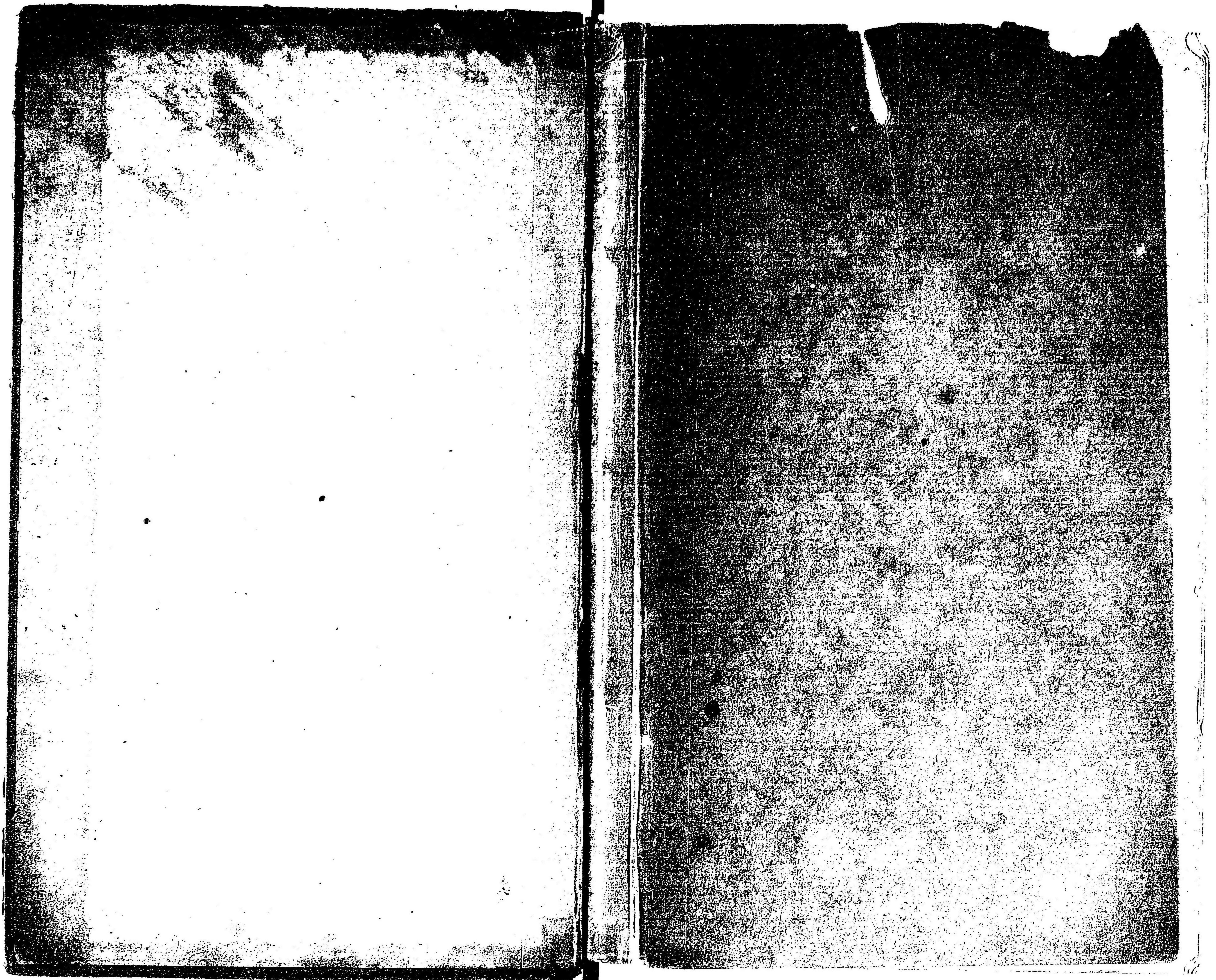
同 金九拾五錢

文部省御藏版

○百科全書 人心論

全一冊

同 金拾六錢



大日本圖書會館

一	二	三	四
冊	號	架	函

046180-000-5

特23-611

教育史

ヒロビブリアス/著

M16

BEC-0053



特 23

611

